阿蘇市議会議員定数検討特別委員会 中間報告書

阿蘇市議会議員定数
検討特別委員会 委員長
松永 勲

本委員会は、平成19年第2回阿蘇市議会定例会において、阿蘇市議会の議員の定数について調査・研究を行うために設置され、これまでに、3回にわたり委員会を開催してきたところであります。

この間、九州圏内の各市の議員定数状況や一般会計予算と議会費等の規模、県内各市及び郡内町村の現在の取り組み状況及び議員報酬等について、阿蘇市はどのような位置に置かれているかなどの調査・研究を重ねてまいりました。

当市においても、平成20年度に向けて当初予算が提出されていますが、厳しい財源調整の中で予算が組まれております。

市議会としては、市総合計画及び新市建設計画に位置付けられた諸施策を着実に推進し、合併効果を活かしながら経常経費の徹底した節減合理化を図るなど、限られた財源を有効に活用することを基本とし、市民生活の向上に全力を尽くしていかなければなりません。

このため、これまでの委員会において、各委員から出された意見・提言等の中には、合併により地域性に配慮しながらも、議会としては、行財政改革が進められている中では議員定数削減も必要だとの意見も出されました。

そこで、地方自治法第91条第2項の規定による法定数上限26人については、削減する方向の意見が多数を占めましたが、何名削減するかについては、更に検討中であります。

今後も、引き続き調査・研究を行ってまいりますが、議員定数は平成23年の改選時に反映するものであり、平成21年12月定例会までに最終報告を行い、議案を提出する予定で進めてまいります。

議員定数問題については、議員の理解と協力はもちろんのこと、市民の理解が得られるよう、引き続きご協力をお願い申し上げます。

阿蘇市・竹田市両建設常任委員会の交流研修結果について（報告）

阿蘇市議会建設常任委員会
委員長　阿南誠藏

以上のとおりご報告いたします。

平成20年1月17日、阿蘇市議会と竹田市議会の両建設常任委員会は、竹田市で交流研修を行ないました。この研修の目的は、「地域高規格道路・中九州横断道路」の早期実現を目指すものであり、開催するに至った経緯は次のとおりでした。

昨年11月、竹田市議会より依頼があり、依頼の内容は「両市の建設常任委員会の正副委員長が年内に顔合わせをして、早期実現に向けて取り組みを進めていきたい」というものでした。このため、両市の建設常任委員会が全員で顔合わせをして、阿蘇市は大分県の工事の進捗状況を現地視察したほうが良いとの判断から、このことを竹田市に伝え、交流研修が実現したものです。

当日の行動は、午前10時に阿蘇市を出発し、11時より竹田市役所で研修を行い、竹田市建設課職員から中九州横断道路の説明を受けました。そして、竹田市より提案があり、「今後は年2回程度継続的に両市の建設常任委員会で交流研修を行ないたい」ということでした。この申し入れを受けたので、「このことを阿蘇市議会に報告の上、交流研修を進めていきたい」と答えたところです。

その後、竹田市長の歓迎挨拶を受け、竹田市の用意した車で現地視察に行き、千歳と大野のインターチェンジ工事現場を視察しましたが、「地域高規格道路とは、料金の要らない高速道路」という強い印象を受けました。

▶両市の視察団